リーディング DXスクール事業 【実践事例】

足立区立舎人小学校(東京都)【協力校】

【取組内容】①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指したポートフォリオの活用

回数	日時	授業のめあて	①授業で学んだこと ②授業の感想や疑問 (友達や先生の回答を記録する場合は、青色で書こう。)	その他 ポートフォリオや資料のリンクをはる。プリントや黒板などを写真で撮り、リンクを貼っておくのもよい。
1	？月？？日	め「大昔の人の生活を想像しながら、想像図を読み取ろう。」	大昔の人は今とはぜんぜん違う暮らしをしていた。食べ物などは自分でとってきて、髪型も、みんなお団子やひょつ結びをしていた。家も藁などで、できていた。次はもっと今と違うところについて調べてみたいと思った。	ペアで編集したスライドのリンクを貼っておくこと。
2	5月30日	め「読み取ったことをペアに伝え、変化に注目してまとめよう。」 課題やめあてを考える中で、どんなことに興味や疑問をもったかを書きましょう。	一枚目の資料も二枚目の資料も裸足で行動していたのでなぜ裸足で行動しているのか気になった。一枚目の資料を二枚目の資料では食べ物も全然違ってどのように変わっていったのか気になった。	https://docs.google.com/presentation/d/12v0zIR4-31ytdv1118PKyzievXH11yGJ2dobx3DlcUJ/edit#slide=id.g2dad37
3		学習問題 「どのように変化していったのか詳しく資料を読み取ろう。」		
6		め「縄文時代ではどのような生活をしていたのかを調べよう。」	縄文時代では狩り中心の生活をしていて、高床倉庫で米なども管理していた。	

高学年ではポートフォリオの形式を上図のようすることで、児童の考えが友達同士で共有しやすくなり、協働的な学びがうまれるようになりました。また、振り返りに資料をリンクで貼り付けられるような工夫をしました。写真や動画の記録、インターネット上のページや各アプリケーションのリンクも貼ることができるので、振り返りに全てが集約されます。煩雑になりがちなデータをまとめることができるようになるだけでなく、教師も学級の児童の考えが把握しやすくなりました。